



町長日誌 No.149

町長日誌の第 149 号です。町長が日頃町民の皆さんと話したしたことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

3月 21 日(月) PM1:00

昨日 20 日は、「お彼岸の中日」であり「春分の日」なので、今日は振替休日と言うことで連休の方も多いと思います。海明けも進み、春を告げる毛ガニも店頭に並ぶようになりました。沙留産も連休明けから水揚げされるようです。しかし、残雪の量は未だ多く、この冬の除排雪費用も昨年並みとなりそうです。

18 日(金)に 3 月定例議会が閉会しました。平成 28 年度の予算や事業計画が決定しました。ちょうどこの日に国に提出していました地方創生加速化交付金が認められ、アニュウ周辺施設の改修整備などの予算が交付されることになりました。この事業をスタートとして興部町の観光事業の開発を進めて行く予定です。また、新年度予算では子育て支援として保育所・幼稚園の保育料を低所得世帯は無料、それ以上の世帯は半額とすることになりました。この事は若い子育て世帯の経済支援を行い、出来ればもう一人産み育ててもらいたいと願うことから取り組む施策です。勿論、これだけで良いとは思っていませんが町には新しい収入が有りませんし、税収が大きく増えることもホタテなどの災害による減産でしばらくは望めません。そこで、おじいちゃんやおばあちゃんにお願いがあります。皆さんが支払う医療費の 9 割から 7 割分を国保或は後期高齢者医療保健から支払っていますが、近年では医療費が増え保険会計で不足する額が多くなっています。これを町は負担しているのですが数千万円にもなっています。歳を重ねれば医療は不可欠になりますが、皆さんがちょっと健康に気を付けて頂ければ孫たちの保育料ぐらいは捻出できるのです。例えば、ラジオ体操をすることも良いでしょう。お友達とお茶を飲みお喋りするのも良いです。福祉センターに行ってカラオケを楽しむのもいいと思います。病にかかり介護が必要になり一番つらいのはご本人です。それが、少しでも皆さんがお元気で「健康寿命」を伸ばすことで、皆さんを支える若い世代がしっかりと子育てを出来る様になるなら、こんなに素晴らしいことは無いと考え新年度から開始します。いつでも保健師が健康推進のご相談に乗りますので気軽に【きらり☎ 82-4170】までご連絡ください。

3月 1 日(火)

気象予報では大荒れになるとの事でしたが嘘みたいに穏やかな朝で、高校の卒業式は大丈夫だと思い役場に向いました。私の家は国道から 12 キロ内陸にあります。街に近づくにつれ吹雪が強くなりだし、秋里の入り口にさしかかると国道を走る車が見えず、豊野側の国道に真っ白な雲がかかったように見えました。取り敢えず役場に向い到了のが 8 時少し前でしたが、間もなく開発建設部や警察から連絡が入り豊野の入り口付近の国道上で数台の交通事故により道路封鎖状態となりました。ちょうど通勤通学時間で、しかも高校の卒業式と重なり、雄武興部側から紋別高校に向かう方達と紋別や沙留から興部高校に向かう皆さんは、吹雪が止み通行が回復するのを今か今かと待ちましたが、通行止めは午後 3 時まで続きました。けがをされた方は、骨折をされた人を含め 4 名いましたが幸い 3 名は軽傷で国保病院に収容し骨折した方は名寄市立総合病院に搬送しました。通行止めですから、沙留公民館ときらりを避難所としてすぐ開設したのですが、吹き溜まりもあり、簡単に方向転換できない状況下では営業バス内で待たざるを得ない人もいたため、町は除雪車を先頭に迎えのバスを用意してきらりに数名収容しました。幸いに小規模な事故に留まり吹雪の時間も短時間で済みましたが、沿岸部で生活する私たちは冬期間に何度もこのようなホワイトアウトと言われる吹雪がある事を認識して対処して頂くようお願い致します。

さて、間もなく新年度を迎ますが、この時期は卒業・入学・転勤・異動の時期です。町内の官公庁出先機関や事業所でも異動があるようですが、役場も 4 名の管理職が退職しますので 4 月 1 日付で職員の人事異動が有ります。町民の皆様にご不便をかけないようにするつもりですが、ご理解をお願い致します。

さあ～、いよいよ春です。新しい生活を始める皆さんのご健勝を心から願っています。お元気で、では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82-2131 です。

